

国際ロータリー第 2780 地区 2021-22 年度 社会奉仕委員長会議 報告書

・日時 2022 年 2 月 10 日（金）17：00～18：30

・会場 第一相澤ビル 8 階，リモート

・参加者 71 名

対面 14 名（クラブ 2 名、地区役員 3 名、委員会関係 9 名）

リモート 57 名（クラブ 41 名、地区役員 2 名、AG8 名、委員会関係 6 名）

前日より大雪注意報が出ている中での実施であったため、直前でもリモートに振替可としました。

その影響で、対面でのクラブからの出席は元々 16 名予定されていましたが、結果的には 2 名でした。

しかし、クラブからリモートに 41 名が入ってもらえ合計 71 人での会議となりました。

挨拶は田島ガバナー、端山プロジェクト委員長、及び本日の説明を田中社会奉仕委員長が行いました。

環境に関する奉仕活動について以下の 2 クラブにリモートにて発表してもらいました。

中学生と共に南足柄の山へブナの植林……足柄 RC

ヤマユリの里づくり ……秦野中 RC

足柄 RC は、昨今はコロナで苦労しているが 13 年にわたり、中学生も環境保護の体験をしながら進めるという素晴らしい奉仕活動の発表でした。

秦野中 RC においては急遽リモートでの発表となったためあわただしい思いをさせていただきましたが、発表の内容は、補助金も活用し会員も楽しみながら「ヤマユリの里」という新たな名所作りを行っている様子が伝わりました。

東社会奉仕委員より、各クラブの奉仕活動を My Rotary や地区 HP に投稿するよう呼びかけがありました。

意見交換会はリモートでは退席してしまう方もおりましたが、対面で 1 グループ 9 名（設営・運営者は除く）

リモートは 47 名が 4 グループに分かれて行われました。

各グループの意見はそれぞれ議事録を作成いたしました。

最後に閉会の挨拶として佐藤エレクトが「奉仕活動で大切なことは①ニーズをさがす②会員の協力を得る③地域の協力を得る、そしてやったことを検証する。」と話されました。

